

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (13 3)

団体名	(特非)ハッピーキッズひがし	代表者名	(職名) 代表理事	(氏名) 九鬼 由佳
事業名	『親子で楽しく体験活動』『代休日児童居場所作り&健全育成』支援事業			

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎○曜日」等で記入</small>	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 <small>(勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記</small>
5月1日	ひがし交流センター	32 (6)	親子リズム体操&お話会(社協共催) ・親子リズム体操 講師 福永摩耶 ・お話会:大型絵本『たまごのあかちゃん』九鬼由佳
5月28日	東光児童センター	16 (2)	わらべうた&ふれあい遊び 九鬼由佳 ・絵本&わらべ歌 『ととけっこう よがあげた』他
7月3日	ひがし交流センター	47 (9)	親子リズム体操&お話会(社協共催) ・親子リズム体操 講師 福永摩耶 ・お話会:大型絵本『はらぺこあおむし』九鬼由佳
9月4日	ひがし交流センター	40 (9)	親子リズム体操&お話会(社協共催) ・親子リズム体操 講師 福永摩耶 ・お話会:ペープサート『ぐりとぐら』九鬼・石井・武本
10月22日	東光児童センター	21 (2)	わらべうた&童謡&ふれあい遊び 九鬼由佳 ・絵本&わらべ歌 『どんぐり ころちゃん』他
10月27日	ひがし交流センター	23 (2)	親子リトミック ・音楽に合わせて、身体を動かそう ・リトミック講師 寺田(三輪)有芙
11月4日	ひがし交流センター	22 (5)	代休日遊べるデー ・オセロ・紙飛行機大会や鬼ごっこ等自由遊び ・給食提供 調理師 假屋和子/栄養士 藤原麻美子
11月6日	ひがし交流センター	43 (2)	親子リズム体操&お話会(社協共催) ・親子リズム体操 講師 福永摩耶 ・お話会ペープサート『くいしん坊のおぼけの子』武本弘子
11月10日	ひがし交流センター	30 (2)	親子リトミック ・音楽に合わせて、身体を動かそう ・リトミック講師 寺田(三輪)有芙
11月26日	ひがし交流センター	34 (2)	人形劇とふれあい遊び(シニアさんと交流) ・人形劇『はらぺこあおむし』・できるかな体操 他 北児童センター地域組織活動クラブ スマイルママ
1月30日	ひがし交流センター	26 (2)	音楽遊び(東光児童センター地域組織活動クラブ共催) 音楽とふれあい遊び・パネルシアターなど ・子育て支援団体 ほのぼのさん
2月20日	東光児童センター	41 (2)	親子リズム体操(東光・地域組織活動クラブ共催) ・親子リズム体操 講師 福永摩耶

< 効果と成果 >

親子の体験活動としては、絵本やわらべ歌、童謡、手遊びといった身近に体験できることから、ピアノ演奏や人形劇等この場でしかできない『本物』体験まで多種多様な活動を展開し、多くの親子に触れ合うことの楽しさを実感してもらえたように思われる。

わらべ歌など同じものを繰り返すことにより、保護者もおぼえて一緒に歌えるようになってきた物もある。児童に関しても入学前健康診断の時に知らない先生ばかりで不安だった年長さんのお子さんが、学校医山田先生を見て『うちわ祭りのマジックの先生だ』と安心したとの話も聞き、新1年生の橋渡しに一役かうことができたようだ。

代休日遊べるデーに参加した児童は、登下校時に会った時にも挨拶してくれるなど、学校・

家庭だけでない、地域とのつながり作りにも役にたったと思う。

いくつかの行事にはシニアさんにも参加してもらったが、『小さい子供や若い人と触れ合うと元気になれる』と大変喜ばれた。子どもたちも大人も『あの時に会った人』と面識ができ、希薄な地域社会が、少しはつながりある地域になる手助けになっているのではないかと思われる。

<今後の展望>

親子行事に参加されている保護者と会話をすると、我が子に最善の育児・教育をしようと思う気持ち、ネット上の情報に振り回されて、疲弊されているような方がいらっしまった。

親の言うことよりも、ネットの情報を信じる若者たち。昔の育児と今とでは違うこともあるし、ネットの情報で助けられることもたくさんあるけれど、もっと気楽に育児を楽しめるようなアドバイスができることよいの、と思う。また、小学生を交流すると、体験の少なさを実感する場面が多い。親子、児童ともに体験活動できる場が必要である。小学校が『教育の場』『託児場所』になりつつあるように感じられる。代休日遊べるデーも他校区にさんご自身も楽しみたいが、何か役に立ちたい、と思われている方もいらっしまったことがわかった。

三世代交流とともに、シニアさんの活躍の場も検討していきたい。

幼児、児童、親子、シニア、すべての人が共に生きる『地域共生社会』の実現にむけて、事業を展開していきたい。 姫路市市民会館が2027年3月末で閉館する。

青少年センターも閉まるので、高校生の学習場所が無くなってしまう。

行政主導で公民館等が受け皿になるような取り組みをしてほしい。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	373,000
参加費等	56,476
合 計	429,476

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	講師謝金	110,000	110,000
	スタッフ人件費	123,456	123,000
	旅費	7,446	7,000
	その他(活動資材費等)	69,176	54,000
	小 計	310,078	294,000
	間接経費(一般管理費)	119,398	79,000
	合 計	429,476	373,000